

平成29年度実施「第六次千葉県障害者計画策定に向けた関係団体からの御意見・提案等」整理表

NO	団体名	第六次千葉県障害者計画に期待すること	「第六次計画に期待すること」の、第五次計画での関係施策	関係課	担当 専門部会	第六次計画位置付の視点 ①障害者基本計画に施策の位置付けがあるか。 ②障害福祉計画基本指針に施策の位置付があるか。 ③第五次計画に位置付があり継続すべき施策か。 ④議会答弁や団体要望の回答などで県として取組むこととしている。 ①から④に該当するものは「取組みの方向性への位置付」を各部会で検討する。 (右欄に○を付ける。)	第六次計画「取組みの方向性」への位置付を検討 ○
5	千葉県手をつなぐ育成会	○市内の地域福祉の現状・課題を把握し、今後の施策と受け皿作りにつなげるためにも、基幹相談支援センターの各市町村設置と業務内容の充実への取組みが必要です。機関相談支援センターの業務として、特に、行動障害等の方の支援と環境づくりのスーパーバイスと支援者育成は急務です。機関相談支援センターと自立支援協議会の連携が必須です。	⑤障害のある人の相談支援体制の充実、 (1) 地域における相談支援体制の充実 ④基幹相談支援センターや24時間365日体制で福祉サービスのコーディネート・福祉の総合相談・権利擁護等を行う中核地域生活支援センターを含む各種相談支援関連事業の役割を整理のうえ、基幹相談支援センターについてはその設置推進策を講じるとともに、国に対しては基幹相談支援センターの運営に十分な財源の確保を要望します。	障害福祉事業課 地域生活支援班	○相談支援		○
11	ちば高次脳機能障害と家族の会	○千葉県内は広域にわたっている。現在の高次脳機能障害の3支援拠点機関では十分カバーしきれない地域は、遠隔のため当事者・家族の負担が大きい(例：印西、香取海浜地区等)。このような地域に支援拠点機関がそれに準ずる相談支援事業所の設置を要望したい。	⑤障害のある人の相談支援体制の充実、 (1) 地域における相談支援体制の充実、⑨(前略) 高次脳機能障害のある人については、地域における相談支援体制の整備を推進し、地域における専門性の高い人材の育成や、県内支援拠点機関及び地域内の関連支援機関とのネットワーク構築に取り組みます。	障害者福祉推進課 精神保健福祉推進班 障害福祉事業課 地域生活支援班	○相談支援		○
12	ちば高次脳機能障害と家族の会	○急性期病院とリハビリテーション病院の連携体制を整備してほしい。また、急性期病院で、家族へ後遺症としての高次脳機能障害の説明をお願いしたい。受傷・発症時点は川の流に例えれば、源流にあたり、この時点での支援こそ肝要である。医療機関の連携による支援策の検討を要望したい。	⑤障害のある人の相談支援体制の充実、 (1) 地域における相談支援体制の充実、⑨(前略) 高次脳機能障害のある人については、地域における相談支援体制の整備を推進し、地域における専門性の高い人材の育成や、県内支援拠点機関及び地域内の関連支援機関とのネットワーク構築に取り組みます。	障害者福祉推進課 精神保健福祉推進班 障害福祉事業課 地域生活支援班	○相談支援		
24	旭神経内科リハビリテーション病院 高次脳機能障害支援事業	○計画相談員が増加し、支援ネットワークを先導する人が増えること	⑤障害のある人の相談支援体制の充実 (1) 地域における相談支援体制の充実、①計画相談支援に従事する相談支援専門員を十分に配置できるよう、国に対して十分な報酬の見直し等の措置を講じよう強く求めるとともに、(後略)	障害福祉事業課 地域生活支援班	○相談支援		○
28	NPO千葉県精神障害者自立支援事業協会	○早く基幹相談支援センターのイメージを明らかにし、今まで以上に県から市町村に設置を呼び掛けるなどの取組を進めてほしい。	⑤障害のある人の相談支援体制の充実 (1) 地域における相談支援体制の充実、④(前略) 基幹相談支援センターや24時間365日体制で福祉サービスのコーディネート・福祉の総合相談・権利擁護等を行う中核地域生活支援センターについてはその設置推進策を講じるとともに、国に対しては基幹相談支援センターの運営に十分な財源の確保を要望します。	障害福祉事業課 地域生活支援班	○相談支援		○